様式３(2020.08改)

作成日　令和　２年　１０月　５日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376200172
事業所名	グループホーム稲武の家

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	認知症カフェ(ほっこりサロン)へのお出かけが日常に溶け込んできた矢先のコロナ禍で、懐かしい顔や街並みを楽しめる機会を失っています。法人の方針で事業所自体が出入りの制限をかけていることから外との接触は一切なく、2ヶ月の休止を経て通常開催となった「ほっこりサロン」への訪問も断念せざるを得ません。地域の酒造メーカーからはアルコールの寄贈があり、「日頃つきあいがないのに」地域という共同体の恩恵を有難く享受しています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議は、偶数月に滞りなく隔月開催しています。4月は緊急事態宣言を受け、豊田市に問い合わせ「書面を残すことで代替してよい」」との指示を得て、管理者が2ヶ月分の活動内容を書面に起こしています。それを議事録として、稲武地域包括支援センター、民生委員、家族代表の固定メンバーに郵送、その後電話で意見を得ており、6月以降は通常開催が叶っています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	豊田みよしケアネットワークへの参加で必要な情報を対面せずともタイムリーに入手でき、助けられています。また、介護相談員はマスクとフェイスシールドでの訪問があった日もありますが、市から意向確認が届いた時点で事業所では法人の方針を以て外部者の入室を断っているため、お断りするに至っています。市主催の研修会、会議は中止なものの、窓口訪問については特段規制ありませんが、事業所では差し控えています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	これまでは年2回の家族会を以てコミュニケーションを充実させ、事業所の取組みについて発信できていましたが、それができない今「何ができるか」と考え、家族会で喜んでもらえているスライドショーの紙面版を制作する企画が進んでいます。ユニット毎にA4版表裏2枚を予定しており、家族に届ける日が来るのが楽しみとなっています。利用者もストレスがたまらないよう「〇〇が食べたい」といった食への要望には大いに応えています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										